

こは 事業も

中央卸売市場再整備

老朽化した中央卸売市場の再整備を進めています。今年度は、水産棟新築の1期工事を引き続き行っていきます。完成は11月末の予定です。

中小企業の新分野進出を支援

成長が見込まれる新たな産業分野への進出や、経営革新を目指す中小企業を支援する「新分野進出支援資金」を新設します。また、創業・独立開業を目指す方が、より融資を受けやすいように対象を拡大します。

中国経済交流促進事業

成長が著しい中国への販路拡大など、地元企業の海外事業展開を支援するため、現地における情報拠点体制の在り方について調査・検討を進めていきます。

韓国経済交流促進事業

韓国とのFIFAワールドカップ™共同開催に伴い、日韓交流が盛んに行われ、札幌への関心も高まっています。これを機に、地元企業の販路拡大や観光客誘致を促進するため、本市の食品を中心とした「物産と観光展」を韓国で開催する予定です。



昨年韓国で開催された「日韓交流祭」での本市出展の様子

都市型農業担い手確保対策事業

新たな農業の担い手を育成する市民農業講座「さっぽろ農学校」に、基礎コースの修

了者を対象にした「就農コース」を新設します。また、「基礎コース」については、昨年に引き続き受講生を募集(21名参照)。不足する農業労働力の確保のため、一層力を入れていきます。



昨年開設されたさっぽろ農学校「基礎コース」の実習風景

札幌食産業ブランド化事業

農業者や食品・観光などの産業、行政などが連携し、札幌産の農作物を使った新たな特産品づくりを推進。すでに商品化されているトマトジュース「さとの太陽」の販路を拡大するほか、「南区産のフルーツを使った菓子コンペ」を開催し、農産加工品の普及拡大を目指します。

商店街等チャレンジプロジェクト事業

空き店舗を活用して、地域住民の交流施設や商業起業家の実験店舗施設などを設置する商店街の活動を支援していきます。

外国人観光客対応コールセンター開設

FIFAワールドカップ™開催時に、札幌を訪れる外国人が快適に滞在できるよう、英語で対応できるコールセンターの開設準備を進めます。

フットナビ！構築事業

観光客やコンベンション参加者への情報サービスの一つとして、ホームページなどの画面上に、地図を用い観光や交通の多彩な情報を提供するシステムを構築します。

情報コンテンツ(内容)分野における人材育成に取り組んでいる「デジタル創造プラザ」内の一室に、デザインを活用するための研究開発・交

その研究開発費用の一部を補助する。このほか、産学官の連携による新産業の育成・振興を推進。市内の企業から産学官共同の研究開発テーマを公募し、その研究開発費用の一部を補

助するとともに、開発成果のPRなど、事業化に向けた支援を行います。

地域産業の活性化に向け、今後、新たな成長が見込まれる情報・福祉・環境・積雪寒冷技術などの各分野で、本市の特性を生かした「新札幌型産業」の創出・育成に取り組みていきます。

流拠点を整備します。既存の工場製品を、デザイナーの力で時代に合った形に生まれ変わらせ、商品化する「リ・デザイン開発研究プロジェクト」など、デザインを通じてさまざまな事業に取り組みます。



「新札幌型産業」の一つでもあるIT(情報技術)産業の集積が進むJR札幌駅北口地区

を入れていきます。さらに、コールセンターに就業を希望する方を対象に説明会や研修などを実施し、人材育成に取り組みます。また、引き続き中小企業の経営基盤の強化に向けた支援も行っていきます。技能訓練棟と産業振興棟の二つの棟からなる「産業振興センター」を今年、東札幌に開設。現在中小企業支援センターで行っている各種セミナーの回数や受講人数を大幅に増やし、十月からは産業振興センターで実施します。再就職者向けの



たくさんのオペレーターが、全国各地からの問い合わせに対応するコールセンター(日本テレコム㈱)



産学官の連携により 「新札幌型産業」を創出・育成

セミナーも新設するなど、より内容を充実させていきます。なお、技能訓練棟(34名参照)は四月一日(月)、産業振興棟は十月オープン予定です。